

就職情報交換「産学懇談会」開く



①産学懇談会の会場
②企業の人事担当者とお話する瀬戸熊理事長



業種別では建築・土 見せている。木、機械・電気、情報・ 第1部の冒頭、あいさ通信などのIC関連がと つに立った小宮一仁学長りわけ旺盛な採用意欲を は本学の躍進ぶりについて、今年春の一般入試で創立以来最大の5万8888人の志願者を集め、東京理科大学を抜いて理工系大学の第1位になったことを紹介し、「千葉工大は理工系トップクラスの

「国際金融研究センター」来春開設
本学が企業と親睦を深め、学生の就職情報交換し合う今年度の「産学懇談会」が10月30日、ホテルニューオータニ幕張で開かれ、過去最多の505社から人事・採用担当者517人が出席した。出席企業が500社を超えたのは初めて。経済情勢の好転による人手不足で企業の採用意欲が高いことに加え、最近の躍進で「千葉工大」への注目度が高まっていることが背景にある。

志願者増 先端技術 躍進の本学に注目

最多505社が出席

NEWS CIT

2015 11.15
ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344
<http://www.it-chiba.ac.jp/>
毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

- 2面 小澤研・西村さん、工藤さん国際会議で受賞／入江主任研究員、奨励賞も／富井教授に優秀著作賞／滝口さん向日市ロゴ優秀賞／福島助教に奨励賞
- 3面 「シンナライブ」スタート／子どもプロジェクト夏企画開く／「エコメッセ in ちば」に本学出展／出版案内
- 4面 県大学野球秋季2部で本学が完全優勝／実験動物慰霊祭／校友「管家基夫氏」
- 5面 タイ、中国 海外研修に参加して
- 6面 11月オープンキャンパス／新任紹介

インドのアミティ大と 交流協定を締結



協定書を手にアミティ科学技術革新財団のセルヴァムルティ理事長(中央左)と小宮学長

小宮一仁学長はインドのアミティ大学(ニューデリー)を訪れ10月14日、主管財団の理事長と大学間交流協定を締結した。アミティ大は国内各地にキャンパスを展開するインド屈指の私立総合大学。
本学の海外交流協定大学はこれで11カ国・地域、23大学となり、いっそう幅広く交換留学や学術交流が進むと期待される。

「優秀な学生を」企業側に熱気
「産学懇談会」の会場に当てられたホテルニューオータニ幕張の大宴会場「鶴の間」の前には、受付開始時刻の1時間も前から、企業の人事・採用担当者が集まり始めた。このため時刻を早めて受付を開始したが、受付台の前には長い列ができた。

「大学の担当者早く名刺を交換したいと思ひまして」「先生とぜひ情報交換をしたかったの」など話す企業の担当者からは、何としても優秀な学生を採用したいという熱気があふれていた。
2017年春入社の大

「準備が大切」
経団連の榊原定征会長が2017年春入社の大生の面接解禁を「6月」に前倒しする可能性を表明したのは、本学が産学懇談会を開く3日前の10月27日。11月9日には定例記者会見で経団連の方針として発表した。さらに政府や大学と協議し、11月中に指針として正式に決定する。
会社説明会などの広報

「就職活動は準備がとて大切。仮に広報活動解禁が、今回同様の3月になったとしても、それまで何も準備をしなかった人としつかり準備した人とは、必ず結果に大きな差が出てしまう。自分自身の就活スイッチを早くオンにして、有意義に活動してほしい」

教員たちも企業の人事担当者とお話



学生を対象とする企業との面接解禁を「8月」から「6月」に前倒しするという情報も会場の大きな話題に。日本私立大学協会常務理事として就職委員会を主宰し、国・公・私立大学と高専

OPEN CAMPUS 12.6

津田沼キャンパス 13:00~17:00
受付時間:12:30~

国際会議でダブル受賞

小澤研の西村さん、工藤さんポスター賞

宇宙空間など微小重力環境下での科学を議論する「第6回国際宇宙物理学シンポジウム（ISPSO）」で日本マイクログラビティ応用学会主催は9月14〜18日、京都市上京区の同志社大室町キャンパスで開かれ、小澤俊平・機械サイエンス学科准教授の研究室の2人とともに機械サイエンス専攻修士1年で、▽西村大さん「電磁浮遊法による酸素活量を考慮した銀および銅融体の表面張力」を発表▽工藤裕さん「レーザー加熱を併用した電磁浮遊法によるチタン融体の表面張力測定」を発表。小澤研究室では金属材料などを、微小重力環境下で容器を使わず浮遊させて溶融・凝固させ、新材料を生み出すなどの研究をしている。

西村さんは、金属を空中浮揚できる電磁浮遊法術を使って、サンプルが測定器具から汚染されることを完全に抑制して、ろう付プロセスで求められている銅や銀の正確な表面張力測定を行った。工藤さんは、この方法はレーザー加熱を組み合わせ、従来は溶融すら困難だったチタンについて、絶対温度2300Kの高温までの表面張力測定に成功した。西村さんはポスター構成



西村さんと毛利衛宇宙飛行士(授賞式で)



工藤さんと(同)

毛利衛宇宙飛行士に説明する西村さん

成についで、何度も小澤准教授と相談し完成度を高めた。「受賞できて、とてもうれしい。慣れない英語の発表に戸惑いましたが、なんとかやり遂げました。今後は口頭発表にも挑戦して

毛利衛宇宙飛行士に説明する西村さん



一方、工藤さんも「英語のポスター作りは、日本語に比べ文字数が多くなってしまう、レイアウトに苦戦しました」と語



優秀賞に選ばれたロゴマークと滝口さん

向日市ロゴで優秀賞

デザイン科学科の滝口さん



デザイン科学科3年の滝口亜美さんが、京都市向日市が募集した「向日市歴まちロゴマーク」に応募した作品が、優秀賞に選ばれた。応募作は189点あり、このうち最優秀賞が1点、優秀賞には4点が選ばれた。10月10日、向日市民会館ホールで表彰式があった。

向日市は平安京の前の長岡京(784〜794年の地として有名で、大極殿跡が残る。滝口さんは大極殿のシルエットをメインに、発達していた水路と碁盤の目状の道路を描き、竹林が多いことから笹をあしらった。

「向日市には行ったことがなく、市の魅力や長岡京など、とにかくたくさん調べました。ロゴに、あまりごちゃごちゃと入れすぎないように、必要な情報を選んだという。

滝口さんは「賞をいただけ、とてもうれしい。向日市について多くを知る機会にもなり、よい経験になりました。千葉県から表彰式に来たことで向日市民からうれしい言葉をたくさんいただきました」と語った。

富井教授に優秀著作賞

「都市鉄道直通運転のダイヤを考える」



富井教授

富井規雄・情報工学科教授が発表した「都市鉄道直通運転のダイヤを考える」(電気車研究会「鉄道ヒクトリアル」2014年6月号掲載)が、鉄道友の会の2015年・島秀雄記念優秀著作賞(定期刊行物部門)に決まった。授賞式は10月4日、東京・九段北のアルカディア市ヶ谷私学会館

で行われた。富井教授はコンピュータを駆使した鉄道システム工学のスペシャリスト。賞の選考委員会によると、受賞作は、鉄道輸送サービスでも特に重要な「運転整理」について身近な実例を引きながら紹介している。必要な図表はカラーで分かりやすく解説。旅客サービス向上へ、専門家としての提案も盛り込まれており、優れた著作だとしている。

富井教授はこれまでに

ロボット学会研究奨励賞も

入江主任研究員 ロボット自己位置推定で



入江主任研究員

ト学会学術講演会(福岡市・九州産業大)で発表した、移動ロボットの自己位置推定方法についての研究が、研究奨励賞に決まった。今年9月4日、同学会の第33回学術講演会(東京都足立区・東京電

機大)で表彰された。発表論文は「初めて訪れる場所における2次元市街地図を用いた自己位置推定」。

入江主任研究員は、Google Mapのような既存の市街地図を用いて移動ロボットの自己位置推定を行う研究を進めている。事前情報や物体認識を用いず直接、自

己位置推定を可能にする方法で、発表では、統計的依存性を最大化するという新しいアプローチを提案した。

今年3月の第20回ロボット学会シンポジウムで、この方法を拡充した成果で、友納正裕副所長とともに優秀論文賞を受賞している。

入江主任研究員は「受賞は大変うれしい。今後さらに研究を進め、本当に使われる技術になるよう頑張りたい」と語っている。

福嶋助教に奨励賞

戦後の教育理念形成を研究



福嶋助教

工学部教育センター社会教室の福嶋尚子助教が日本教育行政学会の年報に投稿した論文が、研究奨励賞を受賞した。10月10日、名古屋大東山キャンパス(名古屋市中種区)で開かれた学会第50回記念大会で表彰された。

論文は「IFELにおける学校評価論的分析―農業高校に関する基準政策の展開に着目して―」。

福嶋助教は戦後、連合国軍総司令部(GHQ)が進めた教育改革で、学校評価理論を導入しようとしたGHQと文部省との間で

「IFEL」における学校評価論的分析―農業高校に関する基準政策の展開に着目して―。福嶋助教は「私が初めて取り組んだ歴史研究を多くの先生に読んでいただき、評価されたことを光栄に思っています。今後も研究を進め、研究の面白さを学生に伝えていきたい」と語った。

日本教育行政学会は、教育行政・政策・制度学系では国内最大の学会で会員は約570人。

未来ロボット技術研究センター(furor)の。今年9月4日、同学会の第33回学術講演会(東京都足立区・東京電

体認識を用いず直接、自

己位置推定を可能にする方法で、発表では、統計的依存性を最大化するとい

富井規雄・情報工学科教授が発表した「都市鉄道直通運転のダイヤを考

富井規雄・情報工学科教授が発表した「都市鉄道直通運転のダイヤを考

富井規雄・情報工学科教授が発表した「都市鉄道直通運転のダイヤを考

新習志野で 「シンナライブ」

図書館前

取って置きの話ミニレク

初回は竹内教授

たし写真。

■ 初回は竹内教授
 1、2年生が学ぶ新習志野キャンパスでは先輩学生が少なく、ゼミや卒業論文指導もないため、教員と学生との触れ合いは授業が中心。そこで図書館事務課の高池宣彦さんらスタッフが、本学の教育目標前文に掲げられている「師弟同行・師弟共学」を実現するために、授業以外でも教員と学生が触れ合う場を作ろうと「シンナライブ」を企画した。

本学の前身の興亜工業



大が満足した頃には、校舎に使っていた玉川学園の校地の芝生の上で教員を囲んで外国語の授業が行われたこともあったと伝えられており、そんな開放的な雰囲気の中で教員と学生がともに学び合う機会にしたいという思いもあったといふ。

当面は月に1回開催。11月9日は菅原昌彦教授が「原子核の形を調べる」形は物理への入り口」と題して話した。

12月3日は河田明久教授の「戦争とアイ」と、来年1月15日は松澤秀則教授の「宇宙における物質の誕生から生命の進化へ！」宇宙で起こる化学反応をコンピュータで解明する」とを予定している。

思考・創造力促すスポーツ

子どもプロジェクト夏企画開く



「子どもプロジェクト夏企画2015」が夏休みの8月24、25日、考える、創る、感じる、つなげるをテーマに新習志野キャンパスのデザイン、ロボット製作室などで開かれた。小学生延べ62人が参加した一写真。

子どもプロジェクトは、子どもの発育発達を生時17歳を追究研究している本学教育センター(体育教室)の引原有輝准教授、若林斉准教授に、松崎元デザイン科学科教授、青木岳史未来ロボティクス学科准教授、

茨城大教育学部教員らが協力し共同で企画された。スタッフに本学学生22人、茨城大生4人が加わった。

初日は、デザインと遊び・スポーツのコラボ体験。午前は松崎教授と学生たちの協力で「デザイン」になってチームオリジナルTシャツを作ろう！。チームに分かれ、パソコンを使ってエンブレムを描き、Tシャツに転写。午後には、各チームが自作のTシャツを着て▽加速度センサー内蔵サッカーボールを使ったシミュレーションフラック

ラインを使った綱渡り体験▽Xシャイロや楕円型ボールで投動作体験▽チーム対抗アルティメット試合」を楽しんだ。

2日目はロボットと遊び・スポーツの組み合わせ。青木准教授と学生たちの指導で、はんだごてを使って1人1人が小型ロボットの製作に挑戦。人工知能ロボットのサッカー試合を観戦し午後にはスポーツで交流した。

引原准教授によると、幼少期の道具操作を要する遊びやスポーツは、思春期以降の身体機能の発達やメンタルヘルス(自己肯定感など)に好影響を与え、学力(脳の実行機能、記憶)にも影響することが世界的に認められている。半面、最近

環境保全へ多彩に展示

「エコメッセinちば」に本学の各研

「エコメッセ2015 inちば」が9月23日、幕張メッセ国際展示場で開かれた。市民団体・大学・企業・行政など12団体が出展し、約12000人が来場した。今年には20周年の記念すべき開催となった。

本学からは▽生命環境科学科生物圏環境研究室(村上和仁教授)▽環境科学研究会(代表・



村上研の展示

終始にぎやかな会場

では、幼少期から特定のスポーツに偏って活動したり、低学年時から学習塾に時間を割かれ、子どもの可能性を制限してしまふ懸念があるといふ。

そこで夏企画は、思考力・創造力と遊び・スポーツとのコラボを盛り込み、新しい児童教育への取り組み方を保護者や子どもたちに示した。

引原准教授は「このような意図の大学主催イベントは類がなく、工業大学の本学が発信するからこそ面白いと考えています。学歴偏重が残る中、幼少期に遊びやスポーツに夢中になった子どもたちが将来、さまざまな分野で活躍するよう期待しています」と語っている。

「大学」の授業で中野重治の詩や小説を読んだことがきっかけです。授業で自分の将来が決まることがあるかも知れない。皆さん、授業に出てください。図書館で本を読んできたさうい

イルド活動を集め▽魚とりによる環境評価▽水辺の楽校の地域展開プロジェクト▽水辺の友達と安全度▽内房海岸の漂着物を活用した環境教育と海浜植物・海岸林の生息場評価▽水田地域のホタル生息場の再生や棚田の環境価値▽都市域をめぐるとするムクドリとの共生▽一般ごみ有料化の合意形成」などをパネル展示。採集した漂着物、学生が作成した海藻おしぼなどの展示にも多くの来場者が関心を寄せた。

谷合研では、研究成果と関連する事業についてパネル展示した

南澤研は、植物や食品、家畜糞などの廃棄系未利用材料を原料にした、水や大気の簡易浄化剤を展示し、その機能や性質を紹介した。

CITものづくりは、日本エコトイ協会/エコトイの会と協働で、家庭から出される牛乳パックなどの廃棄物を使ったエコトイ・エコトイ製作ワークショップを開き、2つのワークショップで延べ300人以上の参加者が集まり好評だった。

から「PCを作れる人」になるうープロジェクト▽廃棄食品由来の学内燃料生成プロジェクト▽学内未利用資源発掘プロジェクト 3R Labの3つが参加し、日頃の研究活動成果をパネルで紹介するとともに、子どもから大人まで参加できる電子工作体験ワークショップを開設。また、日本エコトイ協会/エコトイの会と協働で、家庭から出される牛乳パックなどの廃棄物を使ったエコトイ・エコトイ製作ワークショップを開き、2つのワークショップで延べ300人以上の参加者が集まり好評だった。



企業間競争にさらされる営業や研究開発、製造などの現場。プロジェクトメンバー

現場で心の健康保つには

プロジェクト現場のメンタルサバイバル術

著者「プロジェクトマネジメント学会編(学会のメンタルヘルス研究会委員である五百井俊宏・プロジェクトマネジメント学科教授の14人が共同執筆)

出版 鹿島出版会

価格 2376円(税込み)



五百井教授

は厳しい制約条件や顧客との人間関係から、ストレスや強い悩み、不安などを覚え、メンタルヘルス不調に陥ることが多い。

プロジェクトマネジメント学会メンタルヘルス研究会は2009年から、国内外でワークショップを開き、心の健康を確保する方法を検討してきた。本書は、ワークショップで得られたメンタルヘルスマネジメントに関する実践的知識をまとめたもの。

▽第1章 16の物語▽第2章 物語から読み解くプロジェクトマネジメント術▽第3章 物語から読み解く人間関係術

1の3章に分類し、プロジェクト炎上/背伸びした私/他人任せ/動かない/寝る間も惜しんで頑張ったのに報われず/体が悲鳴をあげている/威圧的な上司/木曜日は会社に行けない/マシン室ひとりぼっち/執念が病気を超える日/正社員じゃないのに……と、現場から上がった具体的な問題を解説。

プロジェクトメンバーが心の健康を保つためには▽人とつながること▽声を上げること▽自分のこととして捉えること▽の重要性を指摘している。A5判、226ページ。

本学チーム 完全優勝

県大学野球 秋季リーグ2部



優勝杯を手渡される石橋主将

MVPに岩堀選手

平成27年度千葉県大学野球秋季リーグ戦2部リーグは9月5日～10月18日、本学西浜野球場で開催され、本学チームが10勝2敗(勝ち点5)で、全チームから勝ち点を奪う完全優勝を果たした。2部では、3季ぶり4回目

目の優勝。
竹内秀一・野球部監督(学生センター課長)は「個々のモチベーション、志を高く持たないと、レベルは上がらない。やらされる野球ではなく、自ら取り組む野球をした結果が優勝につながった。平日は授業の関係で全体練習が限られている中、昨年末に完成した室内練習場の効果は大きい」と話している。



試合前にミーティング

なかつた。平日は授業の関係で全体練習が限られている中、昨年末に完成した室内練習場の効果は大きい」と話している。

10月31日には1部・2部リーグ入れ替え戦に臨んだが、本学チームは残念ながら2部残留が決まった。来季こそ1部リーグ昇格を狙う。

2部リーグ個人賞では、最優秀選手賞に岩堀智紀選手(経営情報科学科4年・東海大望洋高出身)が選ばれたほか、最多勝に6勝を挙げた川田瑛介投手(プロジェクトマネジメント学科3年・国府台高出身)が選ばれた。

そのほかの表彰選手・成績は次のとおり(学科学年の次は出身高校)。



優勝杯と賞状を手にする(左から)川田、岩堀、小黒、川上、石橋、橋本の各選手

- ◆首位打者 岩堀智紀
- ◆ベストナイン 二塁手 石橋好古 112 三塁手 小黒功季 112 外野手 川上祐作 112
- ◆目受賞(経営情報科学科3年・日大習志野) 1位 岩堀智紀 5割 4位 石橋好古 3割7分1厘 7位 川上祐作 3割5分
- ◆目受賞(金融・経営リクス科学科4年・成東) 1位 岩堀智紀 5割 4位 石橋好古 3割7分1厘 7位 川上祐作 3割5分
- ◆目受賞(経営情報科学科3年・船橋二和) 1位 岩堀智紀 5割 4位 石橋好古 3割7分1厘 7位 川上祐作 3割5分

実験動物を慰霊

平成27年度実験動物慰霊祭が9月25日、津田沼キャンパス2号館で行われた。写真。本学の教育・研究活動に貢献した実験動物を供養するため、例年開かれているもの。小宮一仁学長はじめ教職員・学生約1000人が参列。順番に献花し、実験に供された動物たちに感謝と哀悼の意を捧げた。



本学は、科学技術の発展がこれら動物たちの犠牲の上に成り立っていることを再認識し、今後も強い倫理観を持って教育・研究活動に従事していくこととしている。

活躍する 校友

アメリカ機械学会 ASME 公認検査官
かん け 基夫氏 (65歳)
(昭和49年、金属工学科卒)

ASME 米国機械学会 (The American Society of Mechanical Engineers) 米国の機械工学に関する学会かつ職能団体。その公認検査官は米政府機関員としての資格を有し、給与は当該機関経由で支給され、マニュアル審査やマニュアルに沿った工場設計や規格通り製品化されているかなど安全性を現場にて書面、非破壊検査などで監査する。

実家は祖父の代からの鉄工所だ。大阪、愛知、千葉に事業所を構え、大手の製鋼所へ納品。1970年代、市場のグローバル化に伴い、工場単位で必要なASME認証の取得が求められる始める。実家へもアメリカ人のAIが入りし、「キミも取ったらどうか。私の家に下宿したらいい」と勧められた。自分を損保会社へ移し、妻を日本に残しニューヨークへ旅立った。ときに28歳。

なので実家を含め検査対象の会社などからは独立しなくてはならない。1週間北海道から関西、さらに九州へとハードな移動も。大型プラントの製造段階審査および出荷承認のほか、火力発電所、コンビナートなど据え付け先での最終完了確認や各製造所の年次監査などに回る。イラン・イラク戦争中の1984年、イラク空軍に爆撃されたイラン・ジャバン石油化学(IJPC)の現場にも立った。

英語力不足で卒後、猛勉強 アジア人第1号に



「ストレス解消は、釣りや空手で」と管家さん

「事故と聞くとドキッとすわ。自分の手がけたプラントやろか、って」。幸い、これまでトラブルはないという。

現場ではその会社の従業員を指導もする。質問に答えられないとき、「キミ、(お笑いの)吉本興業へ行ったらええんちゃうか」と皮肉の一つも返す。付き合いの長い神戸製鋼所高砂製造所(兵庫県)の遠藤将夫・機器品質保証室長は「モノづくりは真面目でないとダメ。きびしく、優しい親爺みたいな存在です」。

たったたストレスは釣りのや小中高生へのボランティアの空手指導で済む。免許は剛柔流5段。「仕事ととも体の動く間は定年なしで続けます」と管家さん。長男長女は結婚し、妻と次女の3人暮らし。11人の日本人インスペクターを擁する事務所(大阪市)を主宰する。

ASME(アスエ)って、知っていますか? 化学・石油精製や原子力など巨大プラントの製造工程や部品の基準や規格を細かく定めた、メイド・イン・USAの世界的な技術のパスポートだ。携わる公認検査官(AI)オンラインアシスト・インスペクターは日本に20人ほどしかいない。その第一号が管家基夫さんである。

AI資格をとって35年。いまでも年間約6万キロは国内を車で走る。「凍土地帯から赤道直下まで、行ってへん国は北朝鮮くらいなもんですわ」と明るい大阪弁で笑う。

浪速の水で育った。「私立の単科工大では一番古い」と本学へ。下宿へ移る前の1年間、質実剛健で鳴る千種寮で過ごし、小型ながら大阪ナンバーのマイカーをキャンパスで乗り回したという。ほんぼんだったようだ。一方で、鍛錬に空手部に属した。

「でも身体は小さく、相手の突きをかわすのが難儀だった」とか。このため3年生のとき独自に跆拳道を立ち上げ、主将に。沖縄空手の流れ

をくむ、相手の攻めをかわすのをモットーにする拳法である。人気を呼び、空手部員の数をしのいだ。当然、反発を呼ぶ。顧問の先生を介して丸く収めたが、元々まとめる才覚があったのだろう。ところが卒業単位の方が足りず、1年留年してしまった。

翌年、合金に混ざる気泡をテーマにした研究で無事卒業、機械メーカーへ入った。ほぼ同時に学生時代の知り合いだったいまの奥さんと結婚している。約2年後、「家の仕事を」と父に要請され、大阪へ戻った。

「眼の間を削って勉強しましたわ。このときほど英語をやったことなかったと痛感したことはありまへん」。1年目は言葉を、2年目は膨大な規格習得に精を出した。「下宿先のご夫妻は親身になって助けてくれました。感謝してます」。おかげで試験は一発でパス。アジア人第1号でもあった。帰国後、収入は平社員並みから部長級に上がり、「ホンマにこんなにもってえんやろかって、ASMEの極東事務所へ問い合わせたくらい」と驚く。

生活も一変した。検査機関

タイ、中国 海外研修に参加して



万里の長城で。前列右端が石原さん

泰日工業大はタイの産業発展に必要な技術者・人材を育てるため2007年に開学した大学で、日本的ものづくり思想を採り入れ、実践に強い学生の育成を目指している。

一方、中国学生交流プログラムでは、技術者教育で名高い国立大学である哈爾濱工業大学（黒竜江省哈爾濱市）の学生と交流したほか、北京、上海などの名勝を見て回った。

今夏、泰日工業大学（タイ・バンコク）の2015年サマープログラム（8月20〜31日）に参加した田中志弥君（未来ロボティクス学科2年）と、中国学生交流プログラム（デザイン分野）（9月11〜17日）に参加した石原成治郎さん（デザイン科学専攻博士前期課程1年）が、本紙に帰国報告を寄せた。その要旨を紹介する。

バンコクの泰日工業大へ

「人生」を教えられた

未来ロボティクス学科2年 田中 志弥



タイの小学校で。後方の右が田中君

タイに行く直前の8月17、18日に、バンコクで爆破テロが発生。突然の事件に思い悩み、とりあえず冷静になって調べてみよう、ガイドブックに事件の発生時刻や発生場所を記入しました。それでも行きたい決心は変わりませんでした。

今後、部活などが忙しくなり、今しか行けないと思ったのと、（過激派組織ISなど）世界情勢を考えると、平和なところなどほとんどないと思っただけです（他大学の女子学生2人は直前キャンセルしたとのこと）。

タイでは、多くの驚き



泰日工大の学生たちと

と発見がありました。中でも素晴らしいと感じたことが3つあります。

1つ目は「バンコクの街並み」。タイには田園風景が少なく三輪タクシーのトゥクトゥクばかり、のイメージでしたが、実際のバンコクでは多くの車とバイクが走っており、とても都会でした。ただ、少し路地に入ると違う世界が広がっていました。

2つ目は「タイ人の優しさ」。泰日工大の交換留学生として、多くの現地学生と交流し、言語などを優しく教えていただきました。特に私のパデリーのPodはとても優しかった。彼はあまり日本語と英語が得意ではなく、会話は正直大変でした。バンコクにあるワック?

3つ目は「タイ人の宗教に対する姿勢」。いろいろな場所に行きました。必ずと言っていいほど「サン・プラ・プーム」といわれる小さいお堂のような祠があり、日本の神棚のようなもの。土地神様が祭られ、とても細やかな装飾がしてありました。

最も驚いたのは現地の通学生たちが、どんなに急いでいるときも立ち止まらず、神棚に手を合わせていたこと。心の底から感激しました。タクシーなど車にも必ずと言っていいほど小さい花輪と神棚があり、番号や渋滞で止まると、花輪の売りが寄って来ました。常に咲いている花を飾らないといけない、とタクシーの運転手が話してくれました。日本人も学ばなければならぬところがあるのではないかと思います。

交通手段は鉄道などが発達していないため、ほとんどがバスやタクシーです。中でもモーターバイクとタクシーが最も衝撃的でした。普通の2人乗りバイク?に、運転手を含め3人乗りさせられ、とても怖い思いをしました。

3つ目は「タイ人の宗教に対する姿勢」。いろいろな場所に行きました。必ずと言っていいほど「サン・プラ・プーム」といわれる小さいお堂のような祠があり、日本の神棚のようなもの。土地神様が祭られ、とても細やかな装飾がしてありました。

タイに滞在中、路上演奏をしている子どもを少なからず見かけました。その度に、自分の人生がどんなに裕福で幸せなのか、この子たちより、いい環境にいるのに人生の時間を彼らより無駄にしているのでは、と反省しました。帰ったら、彼女や他の子どもたちに負けないくらい一生懸命生きたい。ボランティアなどにも積極的に参加したいと思えました。

タイに滞在中、路上演奏をしている子どもを少なからず見かけました。その度に、自分の人生がどんなに裕福で幸せなのか、この子たちより、いい環境にいるのに人生の時間を彼らより無駄にしているのでは、と反省しました。帰ったら、彼女や他の子どもたちに負けないくらい一生懸命生きたい。ボランティアなどにも積極的に参加したいと思えました。

スケールの違い痛感

デザイン科学専攻博士前期課程1年 石原 成治郎

哈爾濱工業大、北京、上海巡り

参加のきっかけは、文化・歴史・生活が異なる中国に行き、デザインについて学びたいと思ったからです。

私は、他大学から本学の大学院に入学しました。それまではデザインとは異なる分野を学んでいました。今、デザインについて勉強すればするほど、より詳しく学びたいという思いが強くなりました。

スケジュールは大きく分けて、北京、哈爾濱、上海、と移動しました。中国に着き、交通事情に衝撃を受けました。バスの車中から街並みを眺めていたところ、歩行者は歩道がなくとも気にせず車道を横切るのが日常茶飯事。自動車のクラクションが各所で響き渡っていました。

人間工学が専門なので、トイレにも注目しました。

日本のトイレの洗浄ポタンは、最近プッシュ式もありますが、多くはハンドルが一般的です。中国はプッシュ式ポタンで相当な力を込めて押す必要があります。力の弱いお年寄りや女性には使いにくいのではないかと考えました。

また、歩道の段差が激しく、障害者は不便を多々感じるのではないかと思います。

立法（水泳競技場ウォーターキューブ）、上海では玉仏寺（寶石をちりばめた2体の玉仏を安置）

今回、中国のさまざまな土地を周ることが出来、北京周辺では天安門・故宮・万里の長城・頤和園（北京西北郊外の大庭園で西太后榮華の跡）・鳥の巣（北京五輪メインスタジアム）・水

た。故宮で、当時の皇帝がいかに権力をいかに権力を保持させていたかを目のあたりにしました。天安門広場には毛沢東の肖像画が掲げられており、人物を尊敬する面でも日本では見かけないほどの規模が大きいことに驚きました。

写真では見えていたものが、実物を目にするのと違い、日本と中国のデザインに関する違いも知ることが出来ました。建物の装飾をとっても、日本では見かけないほどの規模が大きいことに驚きました。

本では周りの景色と併せての風景を重視しているのに対し、中国では周りの環境というよりは、装飾そのものに力を入れているという印象を受けました。哈爾濱工大の学生との交流では、中国の学生の勉学に対する意識の高さを研究発表から感じました。

今回、中国に行き、自分が物事を考える際に、いかに小さい規模で考えているかを痛感しました。中国の学生と関わったことで、考え方や、勉強への意欲も学ぶことが出来ました。今後、自分の生活に生かしたいと思えます。



哈爾濱工大の学生たちと

学科の魅力アピール



学科説明会&学び体験に熱がこもる

入試シーズンを控え、用意された関連講座は▽推薦入試説明会&対策講座▽一般・センター入試説明会▽駿台予備学校講師による入試問題解説授業―など。「学科説明会&学び体験」は6号館、7号館を中心に開かれた。学科説明のほかに、工作体験、研究室ツアーなど、各科の特色を生かしたイベントが並んだ。来場者は物づくりの魅力に刺



いつもの人気。チバテクコの部屋

秋晴れの11月1日、この季節では初めてのオープンキャンパスが津田沼校舎で開かれ、受験生・父母ら2055人が来場した。入試シーズンを控え、用意された関連講座は▽推薦入試説明会&対策講座▽一般・センター入試説明会▽駿台予備学校講師による入試問題解説授業―など。「学科説明会&学び体験」は6号館、7号館を中心に開かれた。学科説明のほかに、工作体験、研究室ツアーなど、各科の特色を生かしたイベントが並んだ。来場者は物づくりの魅力に刺



一般・センター入試説明会

全部見せます千葉工大



工作センターで

激されながら、各会場を回った。今回は学生企画も盛りだくさん。「リット」「KOMADO」「フォーミユラカー」「プチワークショップ」と、ユニークな活動に、来場者たちは興味津々。構内を効率よく案内するキャンパスツアーも実施され、気さくな対応が好評だった。本学女性研究者ネットワークフォーラム企画による荒井朋子惑星探査研究センター上席研究員の特別講演には一般客も多く来場。南極隕石探査の体験から受験生を励ます話に関心を寄せていた。

教員

新任紹介

（敬称略―本学との出会いや専門分野、趣味などを掲載しています）

熱海 武憲准教授
（機械サイエンス学科）



教職員の皆様や学生さんたちがとても爽やか。21世紀に生き抜く学生の皆さんに、社会に出てから支えとなるような技術を伝えていきたい。専門分野はメカトロニクス、自動制御。趣味は読書。

上田 隆一准教授
（未来ロボティクス学科）



着任早々、研究室にロボットを動かすにやるなど、手を動かすことが好きな学生が多い印象。今後は頭も動かしてもらえるように、さまざまな仕掛けをしていきたい。サラリーマン時代の経験から、学生を大人の世界に引っ張り出し、いろいろな人に会わせたい。実はシースルーのエベーターが怖い（笑）。

研究員

吉川友也主任研究員
（総務部付・部長）

（人工知能・ソフトウェア技術研究センター）



きれいなキャンパスに加え、教職員の方々は優しい人ばかり！とても仕事しやすいです。新しくできた研究センターなので、これから良い成果を出せるように頑張りたい。専門分野は機械学習、データマイニング。奥平 修研究員（惑星探査研究センター）

自由で明るい雰囲気の中、限られた人数ながらも多くの成果を得るために各人が協力し合っている印象。これまで宇宙機用観測装置の開発に携わってきた経験・知識を生かし、効率的に研究を進められる環境作り、研究開発のサポートを行いたい。



職場の皆様は大変温かく、優しく、穏やかな印象です。身近な存在として学生に寄り添い、充実した学生生活を送れるようにサポートしていきたいと思えます。趣味はスキー。

職員

長澤 宏昭
（総務部付・部長）



これまでの経験を生かし、活力・魅力あふれる大学造りに貢献していければと思っています。趣味はゴルフ、アメリカンフットボール（シニアチームでプレー中）。大竹 智美（学生センター・事務職員）



（学務部・事務職員）



きれいで明るく開放的な空間がとても気持ち良いです。皆さんに温かく指導していただき、心強いです。1日でも早く戦力になれるようがんばります！趣味は読書、散歩。

PPA



年々、ハロウィーンが盛んになってますね。私の研究室でもみんなで仮装してお菓子パーティーで盛り上がりました。もともと子供たちが仮装して近くの家々に訪れ、お菓子をもらったりする可愛い風習だそうですね。まあ、なにに大学生が言い出すのはここではやめましょう。さて、このハロウィーンですが、幼い頃に同じような体験をした気がしていました。もちろん、数十年前も前の三重の田舎でハロウィーンなんてある訳ではありません。思い出すと、秋のお月見の時に、近所の家々を回って、団子をどろぼうしてくる「お月見どろぼう」が浮かんできました。暗い中、団子だと思ってもらったきたら里芋でがっかりしたことなども。

四季雑感



紅葉シーズン真っ盛りですが、駅ビルなどの商業施設では早くもイルミネーションがハロウィーンからクリスマスモードへと変わり始めています。そんな光景を見ると、もう寒い冬が来るのかと実感させられます。秋は学園祭のシーズンでもあります。学園祭の思い出といえば、学生時代をイギリスで過ごしたこともあり、日本の文化紹介で演奏した和太鼓です。外国人に日本文化を伝えられることを生かしたいと思い、大学生になってから和太鼓を始めました。サークル活動として始めたのですが、大学を卒業する頃にはプロの打楽器奏者と演奏活動をするレベルになっていました。振り返って常々思うのは学生だからこそ好きなことに没頭することができると、今年も津田沼祭の時期を迎えます。本番前日に津田沼キャンパス内で学生さん達が慌ただしく準備をしている姿を見ると、自分が学生の時にも学園祭の前日準備仲間とほぼ徹夜に近い状態では本番を迎えたことを思い出します。学生の皆さんには仲間との思い出を作る貴重な時間、大切にしてください！

編集だより



久しぶりのオトナ女子会で、またシワが増えたんじゃないだろうか？という程笑いに満ち溢れた時間を過ごした。誰に気兼ねすることなく、美味しいものを食べ、たくさん話してストレスを解消！素敵要素満載のこの女子会（オトナ夢もへったくれもない。入試広報課 大橋 慶子